



むさしだい

学校だより3月号
平成29年3月1日
中野区立武蔵台小学校
校長 戸崎 晃

ともになかよく きまりよく

いつもそろって 武蔵台

校長 戸崎 晃

私は本校の校歌が大好きです。素敵な歌詞と曲。初めて聞いた時からなんていい校歌なのだろうと思っていました。10月の運動会のことですが、開会式、全校で校歌を歌っているとき整列している児童を見ながら、次のように思っていました。

最高学年としての高い意識をもち仲間との絆を大切に4月からの半年で大きく成長し、学校の中心となって活躍している6年生。あと半年、どんな活躍をしてくれるのだろう。そして下級生はそんな6年生を見てどんなふうに成長してくれるのだろう。あと何回、こうして全校のみんなでそろって、校歌と一緒に歌えるのだろう。

表題は本校校歌1番の最後の部分ですが、ここを歌うとき、（ああ、みんなで歌えることがまた1回減ってしまった。）とどうしても目が潤み始めてしまいます。

昨日の6年生を送る会でも全校で校歌を歌いました。

♪ ひとりひとりが すこやかに
いつもたのしい 武蔵台 ♪

ひな壇にいる6年生をまっすぐに見つめて心を込めて歌っている1年生から5年生までの子供たち。60周年を迎えようとする歴史の中で、大切に歌い継がれ、地域の皆さんに愛されてきた校歌を、受け継いだ私たちが歌う。今、この武蔵台小で、同じ時を過ごせることに感謝するとともに、子供たちの成長をずっと温かく見守ってくださっているみなさんの大きく深い愛情を思うと胸が熱くなりました。

多くの学校の校歌は1番・2番・3番とあって終わっていますが、本校の校歌は違います。1・2番を同じメロディで歌った後、次のような特別なフレーズで締めくくります。

♪ ああ この平和 この希望
ここに 武蔵台小学校 ♪

歌う度に、心に、この地に生きること、武蔵台小の一員であることの誇りが湧いてきます。子供たちも何かを感じているのか、この部分を歌うときは一段と大きな声で元気に歌っています。

6年生を送る会では、5年生と6年生の代表委員で校旗の引き継ぎも行いました。6年生からは、自分たちが取り組んできたあいさつ運動などの経験をもとに、一人一人は小さな力でも、その思いを合わせれば力は2倍にも3倍にもなり、さらに学校をより良くしていくことができるという話がありました。6年生が一年間取り組んできた「仲間」というテーマ、心を一つにするという思いが伝わる言葉でした。

さて、今年度も最後の月となり、今の保護者の方とも“そろって”いられるのも後わずかとなりました。様々な場面で本校の教育活動にご協力いただきましたこと感謝申し上げます。また、地域の皆様におかれましては格段のご支援を賜りましたこと感謝申し上げます。

保護者としても本校を卒業される方、遠方へ行かれる方など、本校とのかかわりが薄くなる方もいらっしゃると思います。しかし、“ここに 武蔵台小学校”。いつでもお越しく下さい。

すべての皆様のご支援に改めて感謝申し上げますとともに、変わらぬご支援を今後ともよろしくお願いいたします。